

「くらて子ども学芸員」事業

【趣旨】

この事業は、資料館が長年、各小学校で取り組んできた「地域の歴史やくらい」をテーマとした出前授業を発展させ、カリキュラム化したものです。この事業には次のようなねらいと特徴があります。

- (1)「総合的な学習の時間」等を利用して系統的に鞍手の歴史やくらいを学びます。
- (2)学習内容は、各小学校の地域の特色を重視したもの、体験的な活動を多く取り入れています。
- (3)「くらて子ども学芸員」認定証の発行や、解説・案内ボランティア活動の実施など、学んだことの評価や活用を図ります。
- (4)資料館歴史ボランティア等、地域の人々との交流を深めます。

【実施方法等】

- ・【対象者】6年生
- ・【指導者】資料館職員、歴史ボランティア
- ・【材料費】各自負担
(一人あたり粘土代、まが玉材料で合計150円程度)



【内容】

学習テーマ(古代人の暮らし) 総合的な学習の時間 20時間(目安として)

(1)体験学習(4～9月) 10時間

- | | |
|-----------------------------|----------------------|
| ①鞍手の歴史の話 (1時間) | ②体験1 まが玉づくり (2時間) |
| ③体験2 土器づくり (2時間) | ④体験3 土器焼き、火おこし (2時間) |
| ⑤体験4 古墳を見学する(スケッチ・写真) (3時間) | |

(2)まとめ学習(9月～11月)4時間

各班に分かれて、まとめた内容を模造紙や冊子にまとめて発表する。

(3)伝達学習(11月～2月)2時間

下級生に学んだことを教える。

(4)学習発表展示会(2月～3月)4時間

例として各学校でも実施もしくは、歴史民俗資料館にて学習発表の展示

※各学校の都合により(1)(2)まででも構いません。

(5)スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	体験学習					まとめ学習		伝達学習			学習発表展示会



【お問合せ先】

鞍手町歴史民俗資料館

〒807-1311 福岡県鞍手郡鞍手町大字小牧2097番地

TEL・FAX 0949-42-3200

鞍手町歴史民俗資料館

【概要】

歴史民俗資料館と学校との学社連携事業を継続的・系統的・計画的に年間20～30回程度も実施する事業。事業予算はボランティア保険代や通信費のみで実施している。

地域のシニアの方々のボランティア活動の機会を生み出し、シニアの方々の生きがいがづくりとともに地域の教育力の向上や学社連携、身近な地域の資産(人・もの・こと)の活用という視点で特徴的な事例。

【詳細】

◇事業企画の経緯

- ①限られた予算と人員で実施可能な事業を構築する必要に迫られ、地域の教育力向上に効果が見込め、しかも限られた予算で実施可能な小学校への出前授業に資料館の事業を特化。
(資料館で公募した歴史ボランティアを出前授業のスタッフとして活用。)
- ②平成19年度より「子ども学芸員」事業として、町内の1小学校で実施開始。
(毎年1校ずつ実施校を増加。)
- ③平成23年度より、町内の全6小学校で実施(内容は各校区を中心とした歴史をパワーポイントで説明、直接古代の土器などの遺物に触れる、古代火おこし体験、まが玉づくり、土器づくり、遺跡見学、まとめ学習等)。

◇事業の趣旨

これまでの資料館が町内各小学校で取り組んできた「地域の歴史や暮らし」をテーマとした出前授業を発展させ、カリキュラム化を図った。

○ねらいと特徴

- ①「総合的な学習の時間」等を利用して、系統的・継続的に鞍手の歴史や暮らしを学ぶ機会とする。(イベント的の単発の学習ではない。)
- ②地域の意識を持たせるため、各小学校区の特徴を中心とした学習内容とする。
- ③小学生の発達段階に応じ、講義だけの単調な学習とならないように、体験的な活動を多く取り入れ、実体験をとおして学べるようにする。
- ④「くらて子ども学芸員」認定証の発行(卒業式で配布)や、解説・案内ボランティア活動の実施など、学んだ実績の評価や活用を図る。
- ⑤シニアボランティアなどのシニア世代と小学生との世代間交流を深める。
- ⑥シニアボランティアの生きがいがづくりや自己実現の場とする。
- ⑦学社連携の促進と地域資源(人・もの・こと)の有効活用。
- ⑧地域の人と小学生との交流をとおして、地域コミュニティの輪が広がり、さらには地域の教育力向上を目指す。

◇対象者

町内全小学校6年生(122名)

◇事業の広報

- 町広報誌や生涯学習だよりにて報告紹介
- 年度当初、校長会で呼びかけ。
希望学校と個別に連絡調整しながら、実施してきた。

◇指導者

- 資料館職員(学芸員1名)
- 歴史ボランティア(シニアボランティア12名 57歳～79歳)
 - ・募集及び期間...毎年4月募集 1年間
 - ・説明会...5月実施
 - ・ボランティア内容
ボランティアの内容は子ども学芸員がほとんどだが、資料館事業(展示替え、講座等)時にはそちらのボランティアも兼ねる。
 - ・謝金及び旅費...なし
 - ・年間活動回数 子ども学芸員支援...平成23年度37回程度(平成22年度5小学校で23回実施)
- 資料館事業...1事業のみ実施
- ・その他 ボランティア保険 一人500円は町が負担。

◇今後の展望

今後、小学校区内の郵便局、銀行やJAなどの施設にて、子どもがまとめた模造紙を掲示するなど、地域への広報活動を充実させ、地域の教育力向上に向けての一助となるように仕組んでいく構想がある。